

No.2388 比良山縦走

日 時：10月27日（土）

参加者：佐々木（L）、岡本（記）

土曜日出発のテント泊の計画であったが、台風の影響もあり、予定を変更し日帰りの山行となった。天気予報では、今日の近畿地方は高気圧に覆われ全般的に晴れとなっていたが、さすがに雨男二人の山行、時雨模様から一日中曇りで、風も冷たく、イマイチの天気であった。

元々の予定コースは、朽木栃生から、武奈ヶ岳、八雲ヶ原（泊）、蓬萊山を抜け、平までの縦走であったが、一日コースになったので、金糞峠から、堂満岳を抜け、JRの比良駅まで歩くことにした。

朝、出町柳7時45分発のバスに乗ろうとしたが、登山客の大行列。臨時便も出るが満員で座れず。5時前起きの眠気もあり、つり革にぶら下がりながらの出発。平で団体が下り、漸く座る。残りの大

半は坊村で下り、がらがらになったバスで朽木栃生まで行く。ここで単独行の若い男性2人と我々の計4名が下車。どうやら、静かな山歩きが楽しめそうだ。

コースはあまり変哲もない樹林帯が延々と続く。登るにつれ、杉・檜の植林に代わり広葉樹が増えてくる。所々紅葉はしているが、曇りがちの天気と、枯れたような茶色い葉が多く、紅葉もイマイチだ。道は、枯れ葉で所々隠れておりわかり辛いところもあるが、慣れていればそれほど迷うことも無さそうな道だ。

一番後から出発したが、尾根に出る頃にはいつの間にか先頭になり、順調にコースを消化して行く。尾根の手前からは、季節風が当たるようになり、少し寒いくらいの天候だが、登る分には却ってこの位の方が歩きやすい。尾根筋からは、灰色がかかった蛇谷ヶ峰や、釈迦岳からリトル比良、畑方面の村もよく見える。遠くには霞んではいるが、琵琶湖も見え、先週の雨の比良に比べると、贅沢とも言える景色だ。

登り始めてから2時間40分ほどで武奈ヶ岳に到着。ここまで殆ど登山客に会わなかったのが、さすがに武奈ヶ岳、山頂は所狭しと登山客ひしめく。昼食+αで30分程休み出発。一気に八雲ヶ原まで行く。ここからは、北比良峠の方へは行かず、奥ノ深谷沿いに金糞峠まで行く。このルートも意外に人が入っておらず、丸木橋もあちこちで腐り、ルートも少し分かり難い所もあり、金糞峠まで、思った以上に時間が掛かった。

金糞峠からは、後は堂満岳の登りだけで、その後は一気に下るだけだ。少し休憩を取り出発する。あまり遅くなると比良駅前のおでん屋のおでんが無くなる。堂満岳の登りは、少しガレている所や崩壊箇所もあり、少し注意が必要だ。途中武奈ヶ岳方面を振り返ると、山全体は紅葉しているようだが、茶褐色ぽく、あまり綺麗とは言えない。山頂からは、少し灰色に霞んだ琵琶湖が、まあ、綺麗に見える。少し行動食を取り、ここからは一気に比良駅まで行く。頂上直下の急な下りだけ滑らないように注意をすれば、後は楽勝のコースだ。大体の思惑通り、4時前に着き、無事おでんとビールで乾杯する。商売熱心な婆さんが、今日は思ったより客が少ないと嘆いていた。

<参考タイム>

9:03 朽木栃生→9:45 コメカイ道出合→10:29 イクワタ峠北峯→11:01

釣瓶岳→11:43 武奈ヶ岳（昼食 12:14 発）→13:21 金糞峠→13:55 堂満岳（14:11 発）→15:28 桜の
コバー→15:55 J R比良駅

